

嶺南地域共創センター

ニュースレター

梅に関する研究のプレゼンテーションを行いました

令和6年10月11日(金)に、美浜町の福井県園芸研究センターにおいて、本学工学研究科の大学院生が園芸研究センター職員及び自治体の方々に、梅に関する研究のプレゼンテーションを行いました。

これまで、大学院生は「PBLⅡ」の講義で、地域課題を調査し、課題解決に向けた検討・提案を踏まえ試作品を製作する活動を行ってきました。今年取り組みとして、4月から2つのグループに分かれて福井県若狭地域に赴き、情報収集や現状理解などフィールドワークを行い、この調査で抽出した地域課題の解決に向けた活動内容を発表しました。

1つ目のグループからは、梅の木の剪定技術の継承に向けた、現実世界と仮想世界を融合した複合現実(MR)を用いたシステムの開発について、2つ目のグループからは、梅干しを作る際に、青梅を塩漬けする工程で大量に産出される「白梅酢」の再資源化に向けた取り組みについて、それぞれプレゼンテーションがありました。参加者からは、「MRシステムの実現性が高く、素晴らしい技術。2次元でしか見れていなかったことが3次元で見ることができ、技術表現の幅が広がる。」や「世の中の動きや需要を汲み取って、産業廃棄物となる白梅酢から梅塩石鹼を作成するなど、研究の背景が素晴らしい。」といった講評がありました。

プレゼンテーションを行った2つのプロジェクトについては、10月17、18日(木、金)に福井県産業会館で開催された「北陸技術交流テクノフェア2024」でも展示発表を行い、企業の方々からは、両テーマとも着想がすばらしく実用化を期待する声や、工学系技術を農業現場に応用することに感心すると同時に激励の声などをいただきました。



MRシステムを体験する様子



作製された梅塩石鹼

福大未来キャンパス2024で 地域住民の方々へ展示紹介を行いました

令和6年10月20日(日)に、本学文京キャンパスにおいて、福大未来キャンパス2024を開催し、当センターのパネル展示を行いました。

未来キャンパスは中高生を対象とし、教育や研究、学生の取り組みに触れられる参加型イベントです。イベント当日に、学生交流センター1階ロビーにおいて、当センターの概要やセンターで取り組んでいる嶺南地域におけるプロジェクト活を紹介するパネル展示を行いました。中高生や保護者の方が来訪され、展示物を見て当センターへの理解を深めていただきました。



【発行・取材】福井大学 地域創生推進本部 附属嶺南地域共創センター

【敦賀サイト】〒914-0055 福井県敦賀市鉄輪町1-3-33 福井大学敦賀キャンパス内

【小浜サイト】〒917-0069 福井県小浜市小浜白鬚112 白鬚業務棟3階

ホームページはこちらから→

